

2025年07月16日
出光エネルギーソリューションズ株式会社

Press Release

出光エネルギーソリューションズ、福岡市「博多港ベイサイドミュージアム」における 放射冷却塗料の実証事業に参画 ～全国の政令指定都市で初めて「Radi-Cool」塗料を活用～

出光エネルギーソリューションズ株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：足立 和宏、以下「出光エネルギーソリューションズ」）と、ラディクールジャパン株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：何軍、以下「ラディクールジャパン」）は、福岡市（市長：高島 宗一郎）が公募した「博多港ベイサイドミュージアム（福岡市博多区築港本町 14-1）における放射冷却塗料の実証事業（以下、本事業）」に共同で参画いたしました。

本事業は、全国の政令指定都市において初めて、放射冷却塗料「Radi-Cool（ラディクール）」を屋外公共施設に適用する取り組みとなります。



写真左側：博多港ベイサイドミュージアム、右側：効果検証用温度測定器取り付け写真

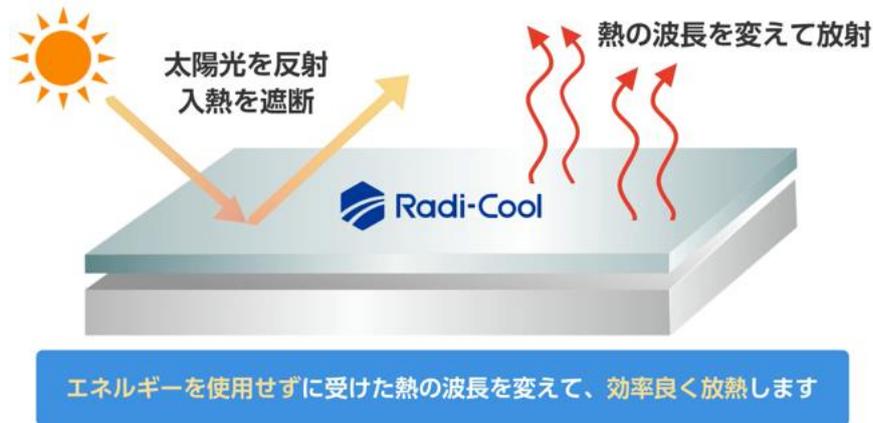
■実証事業の背景と目的

福岡市では 2040 年度の温室効果ガス排出実質ゼロを掲げており、更に港湾エリアを対象とした「博多港カーボンニュートラルポート形成計画」を策定するなど、公共・民間施設のエネルギー使用量並びに温室効果ガス排出量削減を推進しています。本事業では、その一環として「博多港ベイサイドミュージアム」の屋根に放射冷却塗料「Radi-Cool」を施工し、省エネ効果を検証しながら、同様の取り組みを他施設へ拡大することを目指します。

出光エネルギーソリューションズはエネルギーデータの収集計測・分析、屋根面への塗装業務、本事業全体の管理を行い、ラディクールジャパンでは「Radi-Cool」塗料の提供、技術サポートを行います。

■放射冷却素材「Radi-Cool」について

放射冷却素材「Radi-Cool」は 2017 年に米・コロラド大学ボルダー校の研究チームにより、世界トップの科学誌「サイエンス」で発表したことで生まれました。日射を高い割合で反射する既存の技術と、高い放熱技術を複合することにより製品表面への蓄熱を防ぎ、なおかつ裏面の熱も吸収、放射を可能とすることで、ゼロエネルギーでのエネルギー効率の向上と、快適な室内環境の確保を同時に実現した素材です。



◆シルバーフィルム



◆ウィンドウフィルム



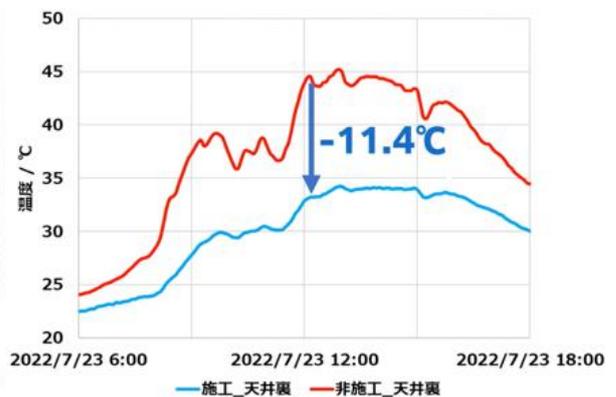
◆塗料



◆ファブリック



■検証データ（塗料の冷却効果）



日産サービスセンター（株）九州支社の屋根に塗料施工した試験データ（日産自動車総合研究所による測定）

■スケジュール（予定）

- 2025年6～7月 : 基礎データ取得、塗装準備
- 2025年7～8月中旬 : 塗装工事（A・B棟屋根上 517㎡）
- 2025年9～10月 : 計測、運用データ収集
- 2025年11～12月 : 効果検証レポート取りまとめ、福岡市へ報告

■今後の展望

本実証で得られた知見を基に、福岡市内の公共施設や民間施設へ適用範囲を拡大し、全国の自治体・企業と連携した脱炭素ソリューションを推進してまいります。本プレスリリースに関するお問い合わせは、以下までご連絡ください。

【本件に関するお問い合わせ】

出光エネルギーソリューションズ株式会社 ソリューション事業部 事業推進課
東京都千代田区神田練堀町 3 番地 AKSビル 7 階

お問い合わせ：弊社ソリューション情報サイト[「お問い合わせ」フォーム](#)よりお願いいたします。

